SYGN HOUSE

B+COM®

Bluetooth Communication system

B+COM
ブルートゥースコミュニケーションシステム
TYPE:SB4X

ユーザーズマニュアル

OS2.0 対応版

⚠ WARNING │運転中は安全運転を最優先として B+COM をご使用ください。

はじめに

サインハウス「B+COM(ビーコム)ブルートゥースコミュニケーションシステム SB4X」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。B+COM SB4Xはデジタル無線技術「Bluetooth3.0」を採用しています。キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。本製品を安全に、良好な状態で、末永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

ご 注 意

・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社WEBサイト（www.bolt.co.jp)をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG,Inc.の登録商標であり、サインハウスはライセンスに基づいて使用しています。
・本製品は電波法に適合するTELECの認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。
※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

目　次

操作早見表

1. はじめに
主な特長／重要なお知らせ／安全に正しくお使いいただくために／各部の名称とはたらき／充電方法／電源を入れる／切る

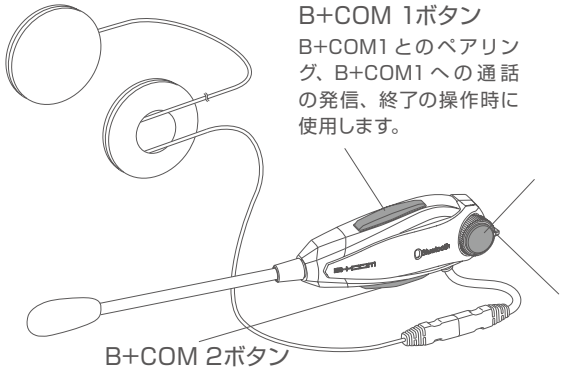
2. B+COM 同士の接続・通話
B+COM 同士で話す（初期登録～通話／ B+COM 同士で話す（3～4人）

3. デバイスの接続・聞き取り
デバイスと接続する／携帯電話を操作する／音楽を聴く／ナビ音声（レーダー警告音）を聞く

4. 便利な使い方
複数の音声を同時に聴く／音声やナビを聴きながら会話する／使い方が広がる便利な通話機能／使い方広がるオプション品、あると便利なスペアパーツ類

5. その他
設定・登録情報をリセットする／ボイスアシスト一覧表／ソフトウェアをアップデートする／こんなときは／仕様／保証書

操作早見表



B+COM 1ボタン
B+COM1 とのペアリング、B+COM1 への通話の発信、終了の操作時に使用します。

デバイスボタン
電源の ON/OFF、携帯電話やハンズフリー機器とのペアリング、携帯電話の発着信、通話の終了の操作時に使用します。

ボリュームダイヤル
電源の ON/OFF、音量の調整（15 段階）、音楽再生時の曲のスキップ / 頭出し操作時に使用します。

B+COM 2ボタン
B+COM2 とのペアリング、B+COM2 への通話の発信、終了の操作時に使用します。

電源

機能	操作方法	備考
電源ON	デバイスボタンをクリックしたまま ボリュームダイヤルを上に3秒間回す	本体LED 青1秒間点灯
電源OFF	デバイスボタンをクリックしたまま ボリュームダイヤルを下に1.5秒間回す	本体LED 赤1秒間点灯
電池残量の確認	B+COM2ボタンをダブルクリック	本体LED HIGH：青1秒間点灯 MID：青＋赤1秒間点灯 LOW：赤1秒間点灯 サウンド HIGH：「B+COM Let`s Go!」 MID：「Battery MID.」 LOW：「Please Charge」

ペアリング

機能	操作方法	備考
1人目のB+COMと接続（B+COM1）	2機の電源を入れてから、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM1ボタンを1クリック（片方のみ）	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
2人目のB+COMと接続（B+COM2）	2機の電源を入れてから、両機のB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅後、B+COM2ボタンを1クリック（片方のみ）	本体LED 赤高速点滅→赤中速点滅→青点滅
B+COM Stationと接続	電源をONにしてB+COM1またはB+COM2ボタンを3秒間長押し→LED赤色点滅→Stationからの着信開通を待つ	本体LED 赤高速点滅→青点滅
各種デバイスと接続（携帯電話、ナビ、トランスミッターなど）	電源OFFの状態から、デバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に5秒間回す	本体LED 赤青交互点滅 →青点滅 ● 携帯電話の場合は、あらかじめBluetoothをONにしておく ● PINコードを求められる場合は「0000」を入力

デバイス操作

機能	操作方法	備考
スピーカー音量調整（15段階）	ボリュームダイヤルを1クリックずつ回す （音量UP：上へ回す　音量DOWN：下へ回す） 音量デフォルト機能： 電源再起動後はボリュームが全て「10」となります。	B+COM通話（ICP）チャンネル、音楽（A2DP）チャンネル、携帯電話（HSP/HFP）チャンネル、はそれぞれ独立して音量調整が可能
マイク音声入力ミュート	B＋COM通話中または携帯電話通話中、B+COM1ボタンをダブルクリックでミュート、再操作でミュート解除	ミュート中は15秒に1回ビープ音でミュートの状態をお知らせ
B+COM1 通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM2から着信して通話中にB+COM1ボタンを1クリック	B+COM2と着信通話中にB+COM1ボタンを押すことで、B+COM1&B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM1 通話終了	B+COM1と通話中にB+COM1ボタンを1クリック（B＋COM1＆B＋COM2と通話中は、B+COM1通話のみ終了）	呼び出し中にもう一度押すことで呼び出しをキャンセル
B+COM2 通話呼出・通話	スタンバイ中、A2DP接続中、またはB+COM1から着信して通話中にB+COM2ボタンを1クリック	B+COM1と着信通話中にB+COM2ボタンを押すことで、B+COM1&B+COM2とのグループ通話が可能 ※グループ通話は接続エラーが起こる場合があります。
B+COM2 通話終了	B+COM2と通話中にB+COM2ボタンを1クリック（B＋COM1＆B＋COM2と通話中は、B+COM2通話のみ終了）	呼び出し中にもう一度押すことで呼び出しをキャンセル
オートグループコール	スタンバイ中、A2DP接続中、B+COM1およびB+COM2ボタンを同時に2秒間長押し	A=B=C=Dでペアリングした際、Aが操作することで、A⇒B⇒C⇒Dと自動で呼出します。途中で終わった場合は手動で続きを接続します。
音楽プレーヤー 曲の再生/一時停止	デバイスボタンを1クリックで再生、 再操作で一時停止 ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	B+COMデュアルトランスミッターでは、この操作でミュート/再出力
音楽プレーヤー 曲のスキップ	ボリュームダイヤルを上に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
音楽プレーヤー 曲の頭出し	ボリュームダイヤルを下に1秒間回す ※A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ	
携帯電話　着信応答	着信音出力後、デバイスボタンを1クリック	グループ通話時は接続できません
携帯電話　終話	携帯電話通話中、デバイスボタンを1クリックまたは通話相手による終話操作	
携帯電話 リダイヤル発信	デバイスボタンを3秒間長押し	
ALLリセット	デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	電源OFF状態で行ってください 青＋赤LED同時点灯→手を離すと消灯
インカム通話チャンネル限定リセット	スタンバイ状態（電源ON、機器未接続）で、デバイスボタン、B+COM1ボタン、B+COM2ボタンを同時に3秒間長押し	グループ通話をする際は、一旦登録情報をリセットするとスムーズです。携帯電話やナビなどの登録情報は消えません。

◎B+COM使用時に、こちらのページをコピーをして簡易マニュアルとしてご利用いただけます。

主な特長

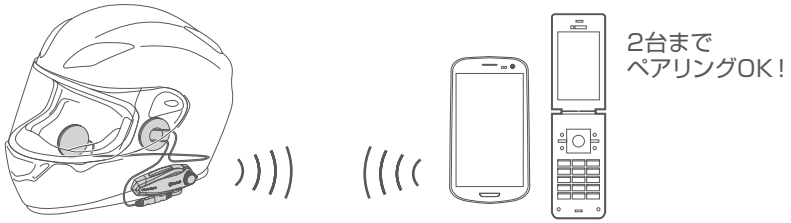
B+COM同士で走りながら「話せる！」

1対1の通話なら、最大通信可能距離は約1.4km　※双方の間に障害がない場合

迫力のステレオサウンドで「聞ける！」

独自機能「3D／ノイズフィルター」搭載

走行中も携帯電話と「つながる！」



マルチプル機能で、2台同時に接続OK

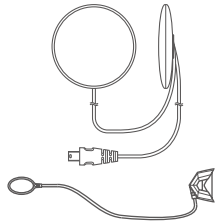
◎オプション品を使えば、もっと便利で快適な
B+COM WORLD が楽しめます！（→15 ～19 ページ）

重要なお知らせ

保証書（本書裏ページ）が無い場合は、いかなる理由でも保証対象外です！

本体ユニット以外は消耗品になります

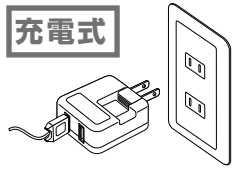
マイクやスピーカーなどは消耗品のため、過度な使用や過度な応力による破損·断線、経年劣化等の場合は、オプションのスペアパーツをご購入ください。



※保証期間内にて、通常使用での不具合（過度な使用、過度な応力による破損等以外の不具合）については、保証対象となる場合がありますので、サポートにお問い合わせください。

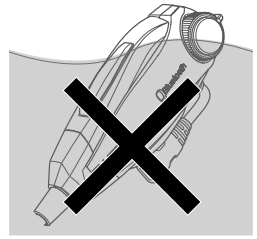
バッテリーの劣化にご注意ください

電池残量が低下したまま保管すると、内蔵バッテリーが短期間で劣化して使用できなくなります。使用後、保管前には必ず充電し、長期保管する場合は定期的な充電をしてください。



本製品は水中使用は保証しておりません！

本製品の本体部は防水構造となっており高い防水保護性能を有しています。
しかし、本体はマイクが装着されてない状態では防水性が無く、また、マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。



本製品およびヘルメットの取り扱いは、大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットは安全を守る大切なギアです。
そのヘルメットに装着して使用する事を想定して設計されており、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐えうる強度は有しておりません。
大切にご使用ください。

◎マイクの扱いもやさしく！

安全に正しくお使いいただくために

- B+COM SB4X は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。

⚠危険 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

⚠警告 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

⚠注意 指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

＜使用上の注意＞

⚠警告

- 大音量を聞きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切って下さい。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
- 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

⚠注意

- 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや miniUSB ジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
- ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

＜電池に関するご注意＞

⚠警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販　売店にご相談下さい。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用して下さい。指定以外の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時は AC アダプターをコンセントから抜いて下さい。差したままの状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。

⚠注意

- ミニ USB ジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

● Bluetooth について Bluetooth™

Bluetoothとは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。
Bluetoothを使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。
さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。
Bluetooth機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。
（接続するには双方のBluetooth機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります）
※Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

● 使用する電波について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として技術基準適合証明を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

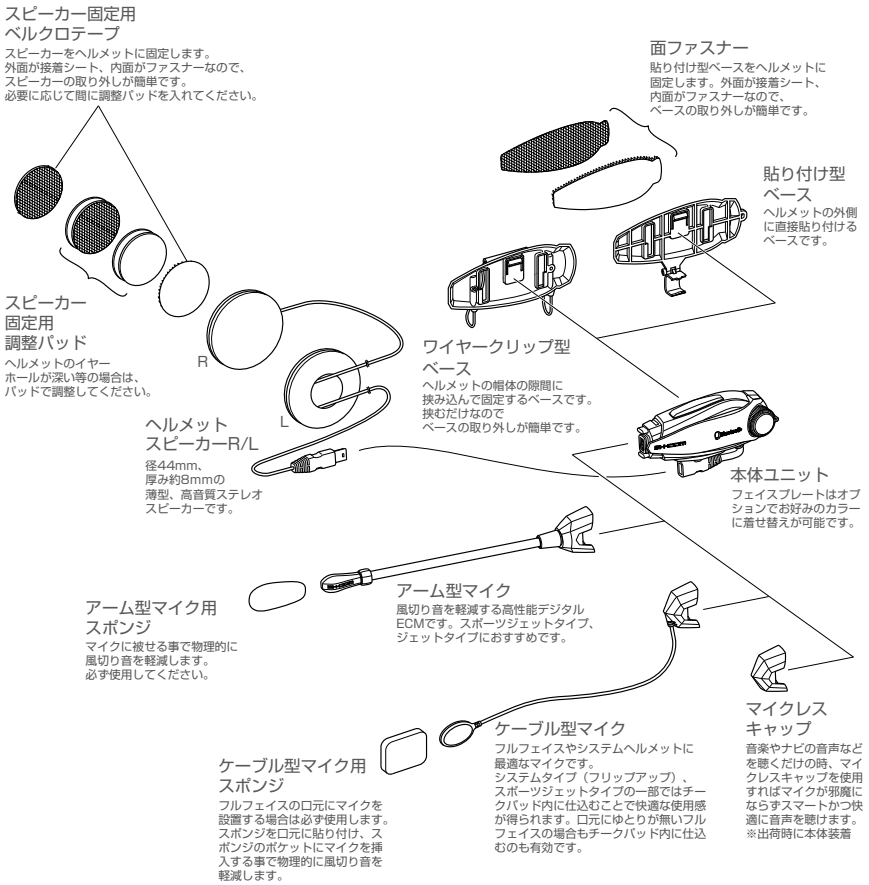
機器名：B+COM SB4X

※海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

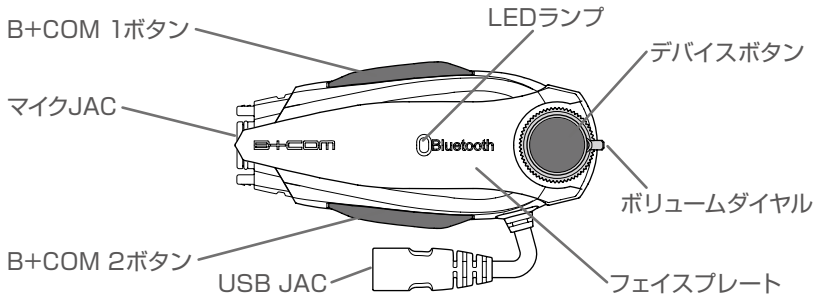
B+COM SB4Xは2.4GHz帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

- ■ 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- ■ 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- ■ 免許を必要としない特定小電力無線局
- ■ アマチュア無線局
- ■ IEEE802.11g/b規格の無線LAN機器

各パーツの名称とはたらき



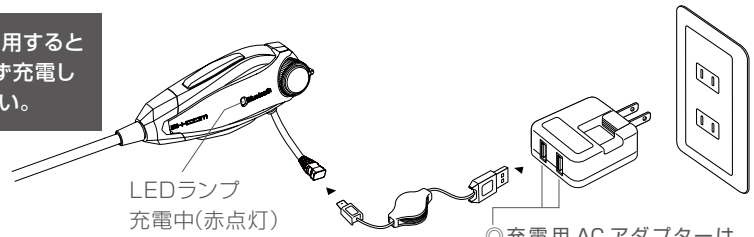
本体ユニット各部の名称



充電方法

B+COM SB4Xは内蔵バッテリーで作動します。本体ユニットと充電用USBケーブル、充電用ACアダプターをつなぎ、コンセントに接続してください。

初めて使用するときは、必ず充電してください。



◎充電用 AC アダプターは
USB ポートが２つ！
２台の B+COM を同時に
充電したり、USB 対応機
器の充電が可能です。

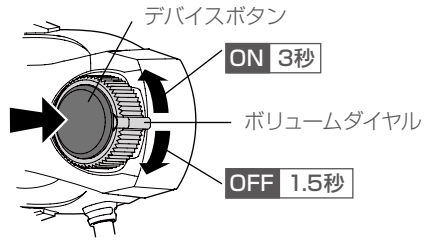
⚠ 使用後は必ず充電してから保管してください

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。バッテリー残量が少ない状態での保管は放電が進み、短期間でバッテリーが劣化してしまいます。
使用後は「充電してから保管」の徹底をお願いします。

電源を入れる／切る

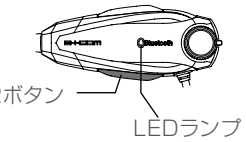
● 電源ON
デバイスボタンをクリックしたまま、
ボリュームダイヤルを3秒間上に回す

● 電源OFF
デバイスボタンをクリックしたまま、
ボリュームダイヤルを1.5秒間下に回す



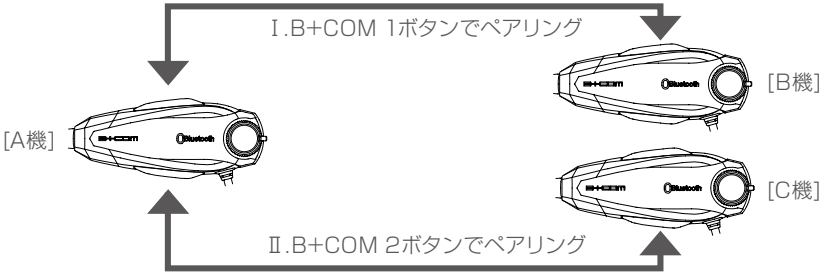
◎電源ON時、バッテリー残量を表示します

電池の残量は、LEDランプの表示パターンおよび音声によって確認できます。
- 電源を起動後、自動的に通知（起動音「トゥルルルー」の後）
- 起動中、B+COM 2ボタンをダブルクリック



LEDランプ	音声	状態
青1秒間点灯	「B+COM Let's Go !」	良好です。そのまま使用可能です。
青＋赤1秒間点灯	「Battery MID.」	まもなく充電が必要な状態ですが使用可能です。
赤1秒間点灯	「Please Charge」	充電が必要な状態です。充電してからご使用ください。

B+COM 同士で話す（初期登録～通話）



※B機とC機はB+COM213.EVO
でも可能です。

＜B+COM同士で通話をするための初期登録（ペアリング）をする＞

Ⅰ.A機とB機をペアリングします。
①A機とB機の電源を入れ、両機のB+COM1ボタンを3秒間長押し（ペアリングモード）
②LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM1ボタンを1クリック
③LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了

Ⅱ.A機とC機をペアリングします。
①A機とB機のペアリング完了後、C機の電源をON
②A機とC機のB+COM2ボタンを3秒間長押し（ペアリングモード）
③LEDが赤色高速点滅したら、A機のB+COM2ボタンを1クリック
④LEDが赤色点滅から青色点灯したら、ペアリング完了

＜B+COM同士で通話/終話する＞

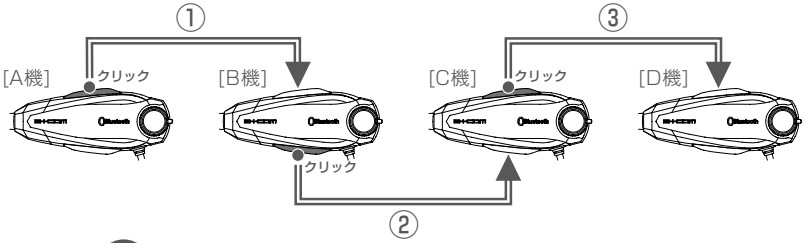
①通話するB+COMの電源をONにします。
②ペアリング済みのB+COM1または、B+COM2ボタンをクリックします
③「B+COM 1 Calling」または「B+COM 2 Calling」が出力されます
④各ボタン同士でペアリングした相手に着信音が出力され通話が始まります
⑤通話中、各B+COMボタンを再度1クリックすると、それぞれの通話が終了します

◎一度ペアリングを行うと、B+COMの情報が登録されます
B+COM1、2の各ボタンで最後にペアリングした1台ずつのB+COMの情報が登録されているので、2回目以降の接続は再度ペアリングを行う必要がありません。
※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、再度ペアリング操作を行ってください。

B+COM同士で話す（3～4人）

＜B+COM SB4X同士でグループ通話する（最大4人）＞

以下の①→②→③の順番でのみ呼び出し接続が可能となります。



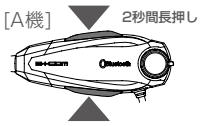
・➡ と反対方向からの呼出は不安定になるため行わないでください。
・グループ通話中は不安定になるためデバイス接続はしないでください。

①上図のように順番を決めます
②「インカム通話チャンネル限定リセット」を行います※推奨（⇒P.20参照）
③上図①、②、③の組み合わせの各ボタンでペアリングを行います
④ペアリングが全て終えたら、A機から順番に①→②→③の順で呼び出します
⑤通話中、各B+COMボタンを再度1クリックすると、それぞれの通話が終了
※3者通話の場合は、D機との③の操作が必要ありません。

＜オートグループコール（最大4人）の操作方法＞

※ペアリングは必要となります

上記の[A機]を以下の操作だけで、上記①→②→③の順番で自動で接続します。



B+COM1ボタンとB+COM2ボタンを同時に2秒間長押しします。発信音が出力され、[B機]→[C機]→[D機]の順で順番に接続します。
途中、[B機]、[C機]、[D機]のいずれかが、通話中の場合、またはいずれかが旧プログラムの場合はオートグループコールは停止します。

※オートグループコールが途中で失敗した場合はマニュアル操作で続きを接続してください。

呼び出しと着信のルール　＝　呼び出し×1、着信×1

●呼び出し通話のルール
ペアリング済みのB+COM1またはB+COM2ボタンのどちらからで呼び出して通話中は、もう一方のB+COMボタンでの呼び出し通話はできません。

●着信通話のルール
B+COM1またはB+COM2ボタンでペアリング済の相手から着信して通話中は、もう一方のペアリング相手からの着信通話はできません。

⚠ SB213.EVOを使用する場合は、A機およびD機としてペアリングしてください。（B機、C機の位置ではグループ通話ができません）

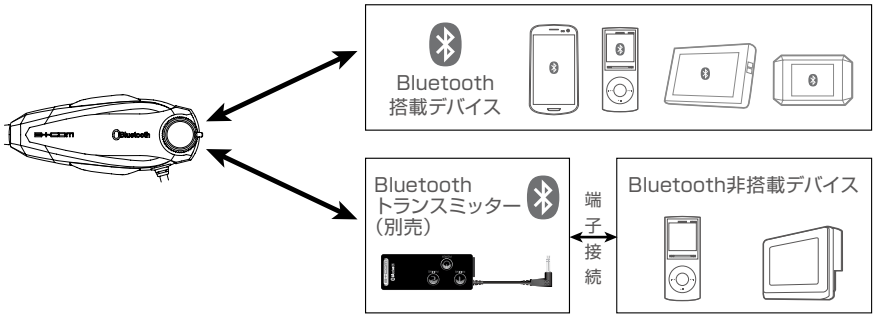
⚠ SB213.EVOを使用する場合、著しく通話品質、安定性が低下します。

⚠ グループ通話中はデバイス機器を接続されていると、著しく通話品質、安定性が低下しますので、使用できません。

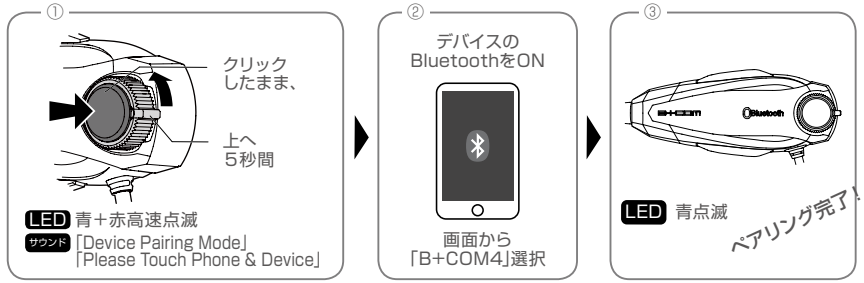
デバイスと接続する（初期登録）

B+COM SB4Xで各デバイス※(スマートフォン、音楽プレーヤ、ナビゲーションなど)とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング(初期登録)を行う必要があります。デバイスの種類が違っても、SB4X側のペアリング操作方法は同じです。

※Bluetooth非搭載デバイスとペアリングするには、別途トランスミッター(別売)が必要です。



①電源OFFの状態からデバイスボタンをクリックしたままボリュームダイヤルを上に5秒間回し続けます。
※LEDが青色点灯しても操作を止めないでください。
②LEDが赤青に点滅したら、ペアリングしたいデバイスのBluetooth機能をON
③デバイス画面から「B+COM4」を選択
※PINコードを求められた場合は「0000」を入力します。
※各デバイスの操作方法は、各機の取扱説明書をご覧ください。
④B+COMのLEDが青色点滅したら、ペアリング完了
●2台目以降のデバイスをペアリングする際は、B+COMの電源をOFFにして、同じ手順を最初から行ってください。



⚠ ペアリング操作中は、B+COMおよびペアリングを行うデバイス以外のBluetooth機能をOFFにしてください。

◎一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます
ペアリングした最新デバイス 2 台の情報が登録されているので、2 回目以降の接続は再度ペアリングを行う必要がありません。

※リセット操作を行った場合、ペアリング情報も削除されますので、再度ペアリング操作を行ってください。
※登録したデバイスの組み合わせによっては、2台同時に使用できない場合があります。

携帯電話を操作する

●接続（コネクト）

Bluetooth通信をするにはペアリング済みの登録機器とSB4Xを、Bluetooth接続(コネクト)を行う必要があります。
※ペアリングを行った直後はそのまま接続されています

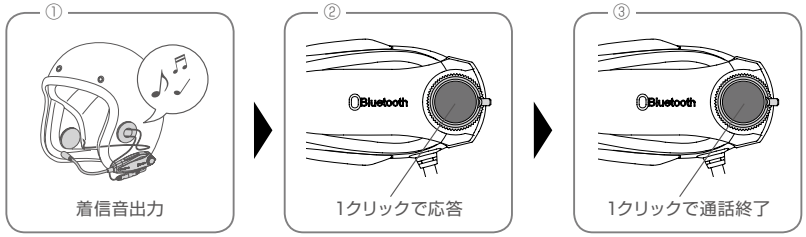
SB4Xはオートコネクト機能により接続する機器を同時に電源ON(Bluetooth機能ON)にするだけで、自動で接続されます。(起動後６秒間のみ)　※

①スマートフォンまたは携帯電話のBluetooth機能をON
②B+COMの電源をONにします。
③スマートフォンで「接続しました」等の表示が出れば、接続完了です。
　完了すると、SB4Xからは、「HFP ON」または「HSP ON」と出力されます。

※未接続のまま6秒間を過ぎた場合は、ボリュームダイヤルを上に１回上げて接続をしてください。(マニュアルコネクト　※ボリューム操作が機能しない時のみ有効)
※機種によりオートコネクト出来ない場合はデバイス側から接続操作を行ってください。

●通話／終話

①B+COM SB4Xと接続した携帯電話に着信があると、スピーカーから電話の着信音または、B+COMのコール音が出力(機器により変わります)
②デバイスボタンを1クリックすると、応答･通話開始
③再度デバイスボタンを1クリックすると、通話終了



●リダイヤル

デバイスボタンを３秒間長押しすると、接続中の携帯電話の最新発信履歴にリダイヤルされます。
※携帯電話を2台接続している場合、2台目に接続した携帯電話からのリダイヤル発信になります。

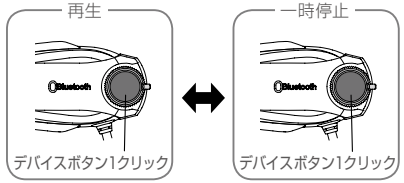
音楽を聴く

スマートフォンや音楽プレーヤーとB+COM SB4Xをペアリング･接続することで、ワイヤレスリスニングとリモコン操作が可能になります。

通信を行う際は、接続（コネクト）行いますが、スマートフォンや音楽プレーヤーのBluetooth機能をONにした状態で、SB4Xの電源ONにすることで６秒間のオートコネクト機能により自動で接続を行います。「A2DP ON」と出力されれば完了です。

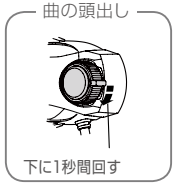
接続が完了したら、デバイス側のミュージックプレーヤーを起動して機器側で音楽等を再生すると以下の操作が行えるようになります。
※リモコン機能[AVRCP]対応のプレーヤーのみ（別売トランスミッターは非対応）

再生／一時停止
デバイスボタンを1クリック



※別売の DUAL トランスミッターは、音声がミュートされます。

曲の頭出し
ボリュームダイヤルを下に1秒間回す



曲のスキップ
ボリュームダイヤルを上に1秒間回す

⚠ 音楽プレーヤーをつないだトランスミッターと携帯電話を B+COM SB4X と同時に接続使用する場合は、先にトランスミッターを接続してから携帯電話を接続してください。

◎Bluetooth非搭載デバイスを使用するには、別売のB+COM Dualオーディオトランスミッターをお使いください。
音声を聴きたいデバイスにトランスミッターを端子接続するだけで、B+COMにワイヤレス出力できるようになります。また、2機のB+COMに音声を飛ばし、共有することも可能です。

※トランスミッターと携帯電話をB+COM SB4X と同時に接続使用する場合は、先にトランスミッターを接続してから携帯電話を接続してください。Android スマートフォンは登録機器リストから登録機器の設定画面を開いて「メディアオーディオ」(A2DP)をチェックを外してください。

※別売 B+COM Dual オーディオトランスミッターを 2 機の B+COM でペアリングする際は、トランスミッターと A 機とのペアリングを保った状態で B 機の操作を行ってください。

ナビ音声（レーダー警告音）を聞く

使用するナビを B+COM SB4X と接続することで音声案内を聞き取ることができますが、ナビの音声出力のプロファイルによって、聞こえ方が異なります。

A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]
（音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ）

B+COM通話着信時:ナビ音声が出力を停止し通話に切り替わります。
携帯電話着信時:ナビ音声が出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

⚠ A2DP のナビ、レーダーの場合、音楽プレーヤーとの同時接続はできません。どちらか 1 台の接続になります。

HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]
（携帯電話、スマートフォンなどの出力と同じ）

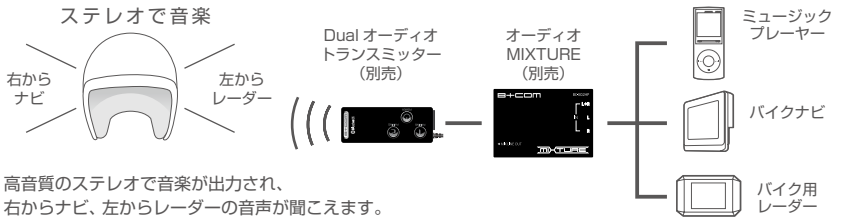
音楽再生時:音楽が一時停止してナビ音声が出力（音楽再生に自動で戻ります※）
※自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。
B+COM通話着信時:着信を受けることができません。
携帯電話着信時:基本的にHSP/HFPナビ等との同時接続自体推奨しません。
（着信操作を受けることができません）

⚠ HSP/HFP のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。zumo660/550、HONDA Gathers M 使用の場合は、携帯電話は zumo に接続した状態での使用を推奨します。

複数の音声を同時に聞く

オプション品を使用する
・オーディオミクスチャー2
・Dualトランスミッター

ナビやレーダーを同時に接続しようとしても不安定だったり、動作が出来ない場合があります。3つのデバイスの音声を同時に聴きたい場合は、オーディオミクスチャーと音声を転送するトランスミッター(別売)の使用をおすすめします。

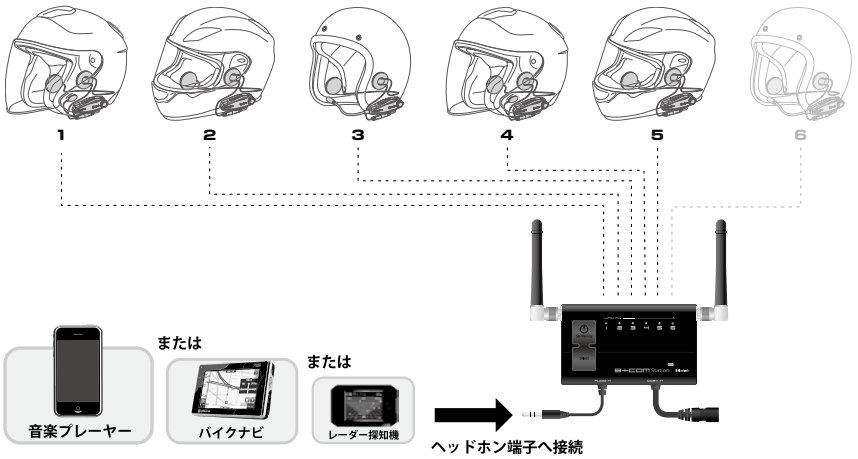


高音質のステレオで音楽が出力され、
右からナビ、左からレーダーの音声が聞こえます。

音楽やナビを聴きながら会話する

別売の「B+COM Station」と接続する

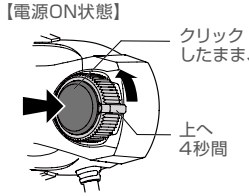
B+COM Stationを使えば、最大6人（推奨5台まで）でBGMやナビ、レーダーの音声を楽しめます。
B+COM Stationに外部音声入力プラグが1系統設けてあり、Stationと音楽機器やナビなどのヘッドホン端子に有線接続をすることで、Stationとインカム通話モードで接続したSB4Xみんなで会話をしながら音声をみんなで聴いて共有できます。



⚠ B+COM Stationと接続する場合の通信距離はStationを中心に、半径約100m前後となります。また、通話音質はSB4X同士よりも多少低下します。

＜B+COM Station（別売）と最適に接続できるモード変更の操作方法＞

B+COM Stationと最大6台（推奨5台まで）で最適に接続するためには、「モードB」へのモード変更が必要です。なお、出荷時のモードは通常モードとなり「モードA」となります。
モード変更は、電源ON状態で以下の操作をすることで、それぞれ別のモードへ移行します。



電源ON状態で、デバイスボタンをクリックしたまま、ボリュームダイヤルを上へ4秒以上固定します。
操作前とは逆のモードとなり、「Mode B」または「Mode A」と出力され、電源が自動でOFFになったら完了です。
操作開始から2秒後に一旦「ププ」とビープ音が出力されます。誤操作の場合はここで手を離してください。

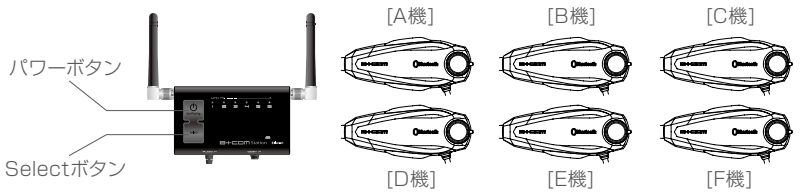
モードの説明と確認方法：
「モードA」･･･SB4X通常モード。電源ON時にモード音声無し。
「モードB」･･･Stationモード。電源ON時「Mode B」音声あり。通信距離も短縮されます。

※オールリセットを行うとモードAになります。

音楽やナビを聴きながら会話する（続き）

＜B+COM Station（別売）とペアリング（初期登録）方法と接続方法＞

Ⅰ.B+COM StationとB+COM SB4Xを順番にペアリングします。
①「インカム通話チャンネル限定リセット」を行います※推奨（⇒P.20参照）
②B+COM SB4Xの電源を入れ、B+COM1または2ボタンを3秒間長押し（ペアリングモード）
③B+COM Stationを電源OFFの状態で、パワーボタンを5秒間長押し（ペアリングモード）
④B+COM StationのLEDが赤青高速点滅したら、Selectボタンでペアリングしたいリンク番号のLEDを選択し、パワーボタンをダブルクリック
⑤B+COM SB4XのLEDが青色点灯、B+COM Stationの該当番号LEDが常時点灯したらペアリング完了
●上記の方法をA機からF機まで繰り返します。



Ⅱ.グループ全員を呼び出す（接続する）
①ペアリングしたB+COM SB4X全機の電源ONし、「Mode B」と出力されることを確認
②B+COM Stationのパワーボタンをダブルクリック
③B+COM Stationのリンク番号のLEDが緑色点灯（6番のみ燈色点灯）で接続開始
●B+COM SB4X側でグループ通話から接続を解除（終話）するには、ペアリングしたB+COM1または2ボタンを1クリックしてください。
再接続するには再度同じボタンを1クリックするか、Station側から呼び出してもらってください。Station側からの呼び出しの方が接続および接続安定性が高くなります。

＜オーディオMIXTURE（別売）を使用して複数の音声を同時に聴く＞

B+COM Stationの音声入力ラインは1系統のみとなります。Stationで複数の音声を同時に聴きながら、グループ通話をしたい場合は、Stationとは別に、オーディオMIXTURE2（別売）をご使用ください。

音質はモノラルですが、音楽はスキー場やビーチなどの BGM 放送の聞こえ方の雰囲気があり、話が途切れても快適です。また、分岐ポイントの確認やスピードの出し過ぎ、安全確認などがみんなで聴いて共有でき、快適＆スムーズなツーリングができます。

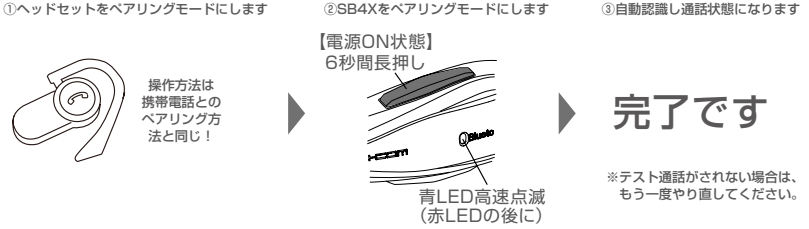
使い方が広がる便利な通話機能

＜ユニバーサルインターコール　【β版機能】＞

スマホや携帯電話と接続可能なハンズフリー通話機能があるBluetoothヘッドセットと直接繋いでインカム通話と同様の会話が可能です。

Ⅰ.ユニバーサルインターコールのペアリング(初期登録)方法

ペアリング(初期登録)する際は、SB4Xをオールリセットして、2台を限りなく近付けて(数１０センチ以内で)行ってください。
なお、ユニバーサルインターコールでは、グループ通話は行えません。



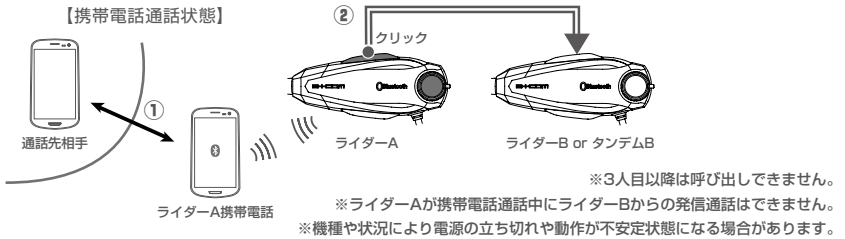
Ⅱ.ユニバーサルインターコールの通話方法

※電源起動後、1回目の通話はB+COM側操作で行ってください。
※機器により片側からしか呼出できない場合があります。
※機器により通信距離の短縮、ノイズ増、動作不安定などが起こる場合があります。

＜グループ通話withモバイル　【β版機能】＞

接続した携帯電話で通話中、タンデムまたは並走ライダーを通話へ参加させることができます。

①B+COM側でリダイヤル発信または、着信通話を行います。②通話状態のまま、B+COM1ボタンまたはB+COM2ボタンを1クリックし呼び出します。



※3人目以降は呼び出しできません。
※ライダーAが携帯電話通話中にライダーBからの発信通話はできません。
※機種や状況により電源の立ち切れや動作が不安定状態になる場合があります。

使い方広がるオプション品、あると便利なスペアパーツ類

B+COM SB4Xをより快適に、楽しくするオプション品、
スペアパーツをご用意しています。

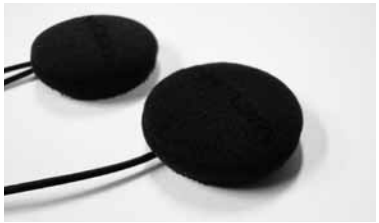
商品名	商品番号	定価(税抜)
【SB4X専用スペア／オプション品】		
B+COM TYPE:SB4X用 ｱｰﾑﾏｲｸ 純正品	00075031	¥5,000
B+COM TYPE:SB4X用 ﾜｲﾔｰﾏｲｸ 純正品	00075032	¥5,000
B+COM TYPE:SB4X用 ﾜｲﾔｰｸﾘｯﾌﾟﾍﾞｰｽ	00075033	¥2,000
B+COM TYPE:SB4X用 貼付ｸﾘｯﾌﾟﾍﾞｰｽ	00075034	¥2,000
B+COM TYPE:SB4X用 ｽﾎﾟﾝｼﾞｾｯﾄ　※マイク、スピーカー、ベースの各スポンジ、面ファスナー類	00075035	¥1,800
B+COM TYPE:SB4X用 ﾏｲｸﾚｽｷｬｯﾌﾟ	00075036	¥500
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ4　ﾐﾆUSBｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　ｽﾄﾚｰﾄ型　※純正品。スポンジ類付き	00075112	¥3,000
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ4　ﾐﾆUSBｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　L型　※純正品と同スピーカーのL型プラグ	00075111	¥3,000
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ Neo. ﾐﾆ USB ｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　ｽﾄﾚｰﾄ型　※純正品より小径、重低音・高音質タイプ	00073380	¥4,000
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ Neo. ﾐﾆ USB ｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　L 型	00073379	¥4,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾌﾟﾗｯｸﾞ(純正品)	00072996	¥1,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾎﾜｲﾄ	00072997	¥1,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾚｯﾄﾞ	00072998	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾍｱﾗｲﾝｼﾙﾊﾞｰ	00072999	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾌﾞﾙｰ	00075113	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ｸﾞﾘｰﾝ	00075114	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ｲｴﾛｰ	00075115	¥1,500
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾌｪｲｽﾌﾟﾚｰﾄ ﾄﾘｺﾛｰﾙ	00075116	¥1,500
B+COM ﾁｬｰｼﾞｬｰｾｯﾄ　Dual	00073003	¥2,000
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 通信用USB変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｹｰﾌﾞﾙ	00073008	¥500
B+COM USB 変換ｽﾋﾟｰｶｰｹｰﾌﾞﾙ　※市販のφ 3.5mm ヘッドホンを使用するための変換ケーブル	00068646	¥1,200
B+COM TYPE:SB213.EVO/SB4X用 ﾊﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟﾍﾞｰｽ	00073010	¥2,000
【B+COMオプション品】		
B+COM Station GTS216 ﾌﾞﾙｰﾄｩｰｽｸﾞﾙｰﾌﾟﾄｰｸｻｰﾊﾞｰ	00073011	¥30,000
B+COM Bluetooth ﾃﾞｭｱﾙ･ｵｰﾃﾞｨｵ･ﾄﾗﾝｽﾐｯﾀｰ 電池内蔵ﾀｲﾌﾟ BC-DAT01M	00072456	¥12,000
B+COM ｵｰﾃﾞｨｵﾐｯｸｽﾁｬｰII 3in1 ﾍｯﾄﾞﾎﾝﾊﾟﾜｰﾀｲﾌﾟ	00074311	¥8,000
B+COM Station&Dual ﾄﾗﾝｽﾐｯﾀｰ専用 ｸﾞﾗﾝﾄﾞｱｲｿﾚｰﾄﾊﾟﾜｰｹｰﾌﾞﾙ	00073547	¥3,000
B+COM MBP2500 推奨ﾓﾊﾞｲﾙﾊﾞｯﾃﾘｰﾊﾟｯｸ Li-Ion 2500mAh	00073642	¥4,800
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ Neo. Φ 3.5mm ｽﾃﾚｵﾐﾆﾌﾟﾗｸﾞ	00073378	¥4,000
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ Neo. ﾐﾆ USB ｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　L 型	00073379	¥4,000
B+COM ﾍﾙﾒｯﾄｽﾋﾟｰｶｰｾｯﾄ Neo. ﾐﾆ USB ｽﾃﾚｵﾌﾟﾗｸﾞ　ｽﾄﾚｰﾄ型	00073380	¥4,000
B+COM USB 変換ｽﾋﾟｰｶｰｹｰﾌﾞﾙ	00068646	¥1,200

着せ替えてオリジナル仕様に変身

好みの色に交換できる、フェイスプレート

重低音をさらに強化する高音質スピーカー

HELMET SPEAKER NEO.

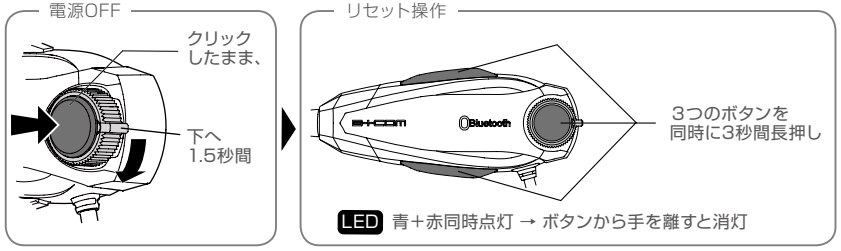


設定・登録情報をリセットする

適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、リセット作業を行い、B+COM SB4Xを初期状態に戻してください。

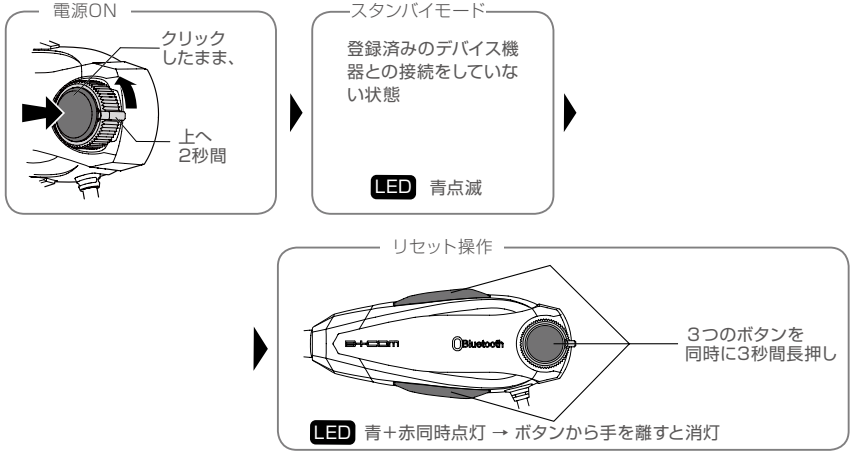
●ALLリセット　（全ての登録情報、設定が出荷状態に初期化）

①電源OFFの状態から、B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、メインボタンを同時に3秒間長押し
②LEDが青赤同時点灯したら、手を離してリセット完了



●インカム通話チャンネル限定リセット　（便利なリセット機能）

①電源ONにします
②登録済みのナビや携帯電話、トランスミッターなどと接続していないスタンバイ状態にします　（登録済みの機器のBluetooth機能をOFFにしてください）
③B+COM1ボタン、B+COM2ボタン、デバイスボタンを同時に3秒間長押し
④LEDが青赤同時点灯し「Reset Finish」と出力されたら、手を離してリセット完了



ボイスアシストの音声内容一覧

＜ボイスアシスト　案内内容＞

【起動時に通知する音声】
・バッテリー残量
「B+COM Let's Go !」·····　＝バッテリー残量-(多)
「Battery Mid」·····　＝バッテリー残量-(中)
「Please Charge」·····　＝バッテリー残量-(小)

・デバイス機器との接続完了　（オートコネクトで接続完了した場合）
「HFP ON」·····ハンズフリー(主に携帯電話の通話機能との)接続完了
「HSP ON」·····ヘッドセット(主にデバイスのヘッドセットして)接続完了
「A2DP ON」····オーディオ機能(音楽またはステレオナビ)接続完了

【ペアリング時の音声】
・携帯電話、ナビ、デバイス機器とのペアリング状態
「Device Pairing Mode.　Please Touch Phone & Device.」

・B+COM同士のペアリング状態
B+COM1ボタンでの操作····「B+COM 1 Pairing」
B+COM2ボタンでの操作····「B+COM 2 Pairing」

【発信および通話呼び出し】
・携帯電話リダイヤル発信
「Redialing」

・B+COM通話呼び出し
B+COM1ボタンでの操作····「B+COM 1 Calling」
B+COM2ボタンでの操作····「B+COM 2 Calling」

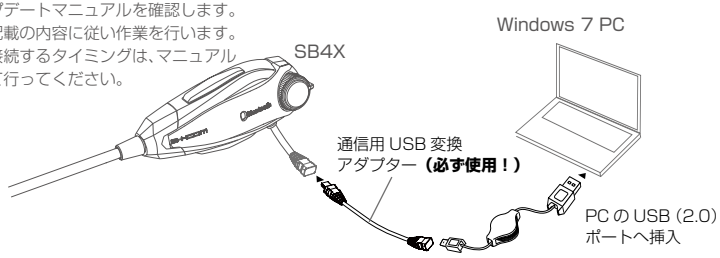
【その他の音声】
・電源OFF·····「Shut Down」
・リセット完了····「Reset Finish」（ALLリセットおよびインカムリセット共通）
・モード切替完了··「Mode A」または、「Mode B」
・マイクミュート··「Mic. Mute」

ソフトウェアをアップデートする

＜動作可能環境　OS：WINDOWS 7、インターネット接続＞　(2014年7月現在)

インターネットを利用して SB4X 専用のプログラムアップデートを行うことで、SB4X の機能をアップしたり、新型端末機種や接続機器への対応を最適化して快適に使用できるようにします。プログラムは SB4X(本製品)と SB213.EVO 等の他製品とはそれぞれプログラムが異なりますのでご注意ください。
最新情報や詳細は弊社 WEB サイト (www.bolt.co.jp) にてご確認ください。

①弊社ウェブサイトでプログラムをダウンロードします。
②作業前にアップデートマニュアルを確認します。
③マニュアルに記載の内容に従い作業を行います。
④下図のように接続するタイミングは、マニュアルの指示に従って行ってください。



SB4XのPCへ接続時の注意点
- PCに接続している全てのBluetooth機器をOFFにしてください。
- USBポートに接続しているBluetoothアダプタ等(マウス等の)も取り外してください。
- PCのBluetooth機能をデバイスからOFFにするか、プログラムをダウンロード後、ワイヤレス機能をOFFにしてください。

※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

仕様

※本使用は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth	：Ver.3.0
チップ	：CSR BC05MM オリジナル3チャンネルタイプ
RF レンジ	：Class1
スピーカー	：2スピーカー44mm, 8Ω、0.5W(モノラル時も2スピーカー)
Pin No.	：0000
バッテリー	：リチウムポリマー3.7V 容量750mAh 内蔵タイプ
充電電圧	：入力AC100V-240V、出力 DC5V-0.8mAh×2ポート
充電時間	：ACアダプター+USB ケーブル　約2時間
連続使用時間	：携帯電話最大通話時間　約18時間/待受け時間　約500時間
オーディオ最大使用時間	：約18時間
B+COM 最大通話時間	：約16時間 ※使用環境により大幅に差異が生じる場合があります。
本体サイズ	：97.6×43.0×26.0(マイク部180.0)　※単位mm
本体重量	：58g
電波仕様	：2.402~2.480GHz　データ伝送速度3Mbps(最大)
周波数拡散方式	：FHSS(Frequency Hopping Spread Spectrum
変調方式	：GFSK(Gaussian Frequency Shift Keying)
電波到達範囲	：最大 約1.4km ※B+COM 通話で双方の間に障害物の無い見通しの直線距離
対応 Bluetooth プロファイル	：ICP、HSP、HFP、A2DP、AVRCP、GAVDP、GAP
認証	：Bluetooth、TELEC、PSE
防水性能	：IP67　※本体部分のみ

こんなときは

下記のような場合は、取扱説明書、クイックマニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社WEB サイト（www.bolt.co.jp）内、「B+COM FAQ」をご覧になるか、保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

B+COM SB4Xが携帯電話とうまく連動しない･･･

- 本機の電源がONになっているかを確認してください。
- バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
- 携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
- 携帯電話のBluetooth機能がONになっているかを確認してください。
- 本機と携帯電話のペアリング(初期登録)が正常に完了しているか確認してください。
- 本機をリセットしてから携帯電話の取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。
- docomo系はBluetoothメニュー内の着信音送出設定を「送らない」に設定されているか確認してください。
- au系は本機と接続時、電話機は「接続待ち」にしてから本機のメインボタンを1回押して接続してください。

通話相手にこちらの声が聞こえない･･･

- 本体にマイクパーツが確実に取り付けられているかを確認してください。
- マイクの集音ホールの向きが口の方向を向いているか確認してください。

通話相手の声が聞こえない･･･

- スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
- ヘルメットスピーカー、スピーカー変換ケーブル、B+COM本体が正確に接続されているかを確認してください。

走行すると最大ボリュームでもノイズできちんと聴こえない･･･ 耳の上・外側が押されて、耳が痛い･･･

停車中はきちんと聞こえても走ると音が聞こえづらい場合や、耳が痛い場合は以下を確認・お試しください。

・スピーカーと耳は大きな隙間なく正しくフィットしていますか？
耳とスピーカーの隙間に空間があると、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができません。付属のスピーカー固定用調整パッドでスピーカーが耳にフィットするよう耳とスピーカーの隙間を調整してください。

・スピーカーは耳の中心に合うよう正しい位置に固定されていますか？
耳の中心とスピーカーの中心が正しく合っていないと、ボリュームを上げても正しい音量・音質で聴くことができないばかりか、大抵の場合、耳の上外付近になり耳の軟骨を押して耳が痛くなる場合があります。ヘルメットを被った時に耳の中心に来るようスピーカーの位置を調整して固定してください。位置の目安としてはストラップの付け根付近に寄せるようにし、実際に被って音楽などを聴きながら微調整してください。

※「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態、プログラム通り機能しないなど正常に動作ができない場合があります。

保証書

保証規定

本製品の保証期間は購入日から 1 年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。
ただし本製品の使用上の誤りや事故、あるいは不当な修理や改造による故障の場合には保証範囲外となります。また天災による故障の場合にも保証範囲外となります。
本製品の故障による付随的および間接的な損害（事故、傷害、利益の損失、時間の損失、不便の発生等）に関しましては、一切の責任を負いかねます。
SB4X 本体ユニット以外のマイクやスピーカー、ベースプレート等は消耗品のため保証対象外となります。使用過程での紛失や劣化、破損、接触不良等は補修部品またはオプション品をご利用ください。
送付中の製品破損を防ぐため、送付する際には梱包材を十分に使用してください。
製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。添付なき場合は無効となります。

1. 購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書
2. 送付内容（製品の種類と数量）
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

保証対応の内訳は、お客様からご送付いただいた製品の状態を見て判断させていただきますが、保証規定に従い保証期間内であっても有償となる場合があります。あらかじめご了承ください。

B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム TYPE : SB4X

店舗捺印欄

※捺印（記入）無き場合は無効となります。

※購買証明書の場合はこちらに添付

お買い上げ日：　　年　月　日　電話番号

保証受付番号：

■ 連絡先／製品送付先
サインハウス　〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢 6-19-21
TEL：03-3702-5050　FAX：03-3701-0700　URL：http://www.bolt.co.jp

14.07